

令和5年(2023年)度 事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月 31日

I. 事業

1. 事業概要

令和5年度はコロナ感染症の流行も落ち着き、各事業理事を先頭に事業運営をしつつ、職員が協力し合い昨年並みの計画を達成する事ができた。

「介護支援事業」

求人広告や介護の仕事にて人材の確保が出来た。

「スマイル事業」

利用者の体調管理について学ぶことができ今後の支援に大きく役立つ経験ができた。

「児童デイ事業」

積み重なる赤字や人員配置基準を満たせず事業所を令和5年10月末にて閉鎖した。

「子ども預かり送迎支援事業」

長期休み時期は利用者が減少する傾向にあるが、全体として増加傾向にある。

綾瀬、千住エリアの利用者急増。

養成講座の開催形態の打診。

「サロン事業」「独自(子育て集団保育)事業」「サロン豆の木(ひとり親家庭支援)事業」

足立区主催のイベントも開催傾向にあり、集団保育の件数は伸びつつある。

同様にサロン利用者も増加傾向にあるため、引き続き満足度の高いイベント開催が求められる。

独自事業の預かりサポートが始まりつつあるため、利用者、サポーターの安全を確保する。

「地域連携事業」

高齢者、障がい者、子育て世帯を問わず、地域住民同士が連携し、社会作りに取り組む事業を、発起人メンバーがとりまとめ、地域のリソースを活用し社会活動していく。取り組む範囲は広がりを見せ、足立区内外の学生から高齢者のボランティアまで、一緒に足立区含めた様々な地域と連携しながらできる事を進めている。今年度は区内の介護/福祉事業所の就労支援や生活困窮者の食糧支援をはじめ、日光市とも連携し、足尾町に区内外の学生を引率して合宿形式のボランティア活動を3回実施した。また、ミャンマー人のスタッフを受け入れた事もあり、ミャンマーにて医療支援と自立支援を行っているNPOとも連携できた。特にInstagramにて情報発信、連携する事で各団体相互の相乗効果が生まれてきている。

- ・NPO法人として地域連携事業を拡げた。
- ・福利厚生を拡充させた。
- ・LINE WORKSを存分に活用できた。
- ・経費節減を実行できた。

2. 事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の 範囲及び人員	売上実績 (千円)
介護関連	ぷらちなくらぶ ・訪問介護	24時間毎日	利用者宅	13人	足立区内 利用者の べ175人	7,181
	スマイルぷらちな ・小規模多機能型居宅介護	24時間毎日	施設及び 利用者宅	13人	のべ 登録234人	68,125
障がい 関連	ぷらちなくらぶ ・総合支援 ・相談支援 ※介護ソフトからケアマザーに変更し、利用者のべ人数算定数値が変わった。	24時間毎日	利用者宅及び 介助先	27人	足立区内 利用者の べ6734人	67,054

	ぷらちな児童ディ ・放課後等ディサービス事業	平日 11:00～19:00 長期休暇期間 8:00～19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事務 所1F,2F	14人	足立区内外 利用者の のべ960人	8,368
子育て 関連	・子ども預り送迎支援事業 ・養育支援事業	6:00-22:00	利用者宅 サポーター宅	コーディネーター 6人 サポーター のべ1134名	足立区内 利用者のべ 9188人	53,308
	ハートアイランド新田 ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00 子育てサロン 平日・土曜日 10:00-16:00	新田キッズ ルーム (新田3)	8人	登録児童 229人 足立区内 利用者のべ 3829人	9,642
	集団保育事業	9:00-18:00	区内各保健 センター等	のべ 約120人	足立区内外 利用件数 のべ165件	1,684
	一時保育独自サービス	6:00-22:00	利用者宅等	のべ 約200人	足立区内外 利用件数 のべ335件	
	サロン豆の木 ・ひとり親家庭支援事業	第2・第4土曜 (日曜・祝日の場 合あり) 14:00-16:00	区内 学習 センター等	のべ 約50人	足立区内 利用者のべ 301人	2,703
地域連携 関連	〈介護のしごと相談面接会〉 運営委託事業	R5.5～R6.1	区内各事業 所、シアター千 住(11/15 1/20)	1名 ボランティア 法人内外 のべ40名	区内68事業所 来場者214名	2,363
	〈ぷらちなぱんとりー〉 補助金事業	R6.1～ 月1、2回 のべ7回開催	区内各所、 ぷらちなくらぶ 本部事務所	1名 ボランティア 10名	区内参加者154 名(のべ) 相談のべ33件	835
	〈その他地域連携事業〉 自主事業	R5.4～R6.3	足立区内各 所、 栃木県日光市 / 足尾町	1名	区内外 約300名	—

3.事業の成果

(1)訪問介護事業/障がい者総合支援事業/相談支援事業

- ・請求ソフト会社を変更した事により予期せぬトラブルが多発した為、計画実行に支障が大きく業務効率が上がらなかった。
- ・求人広告や介護の仕事にて人材の確保が出来た。
- ・事業継続計画(BCP)の作成は外部の講習会を受け実行中。
- ・預かり送迎サービスを利用している児童の計画相談において連携をとりながら支援し本人兄弟の計画相談も新規依頼として早期に受け入れ適切な療育へとつなげることができた。
- ・長年関りのある独居利用者のグループホーム入居が決定し、生活介護や成年後見人の利用手続きまで、家族や各関係機関と連携をとりながら進める事ができた。

(2)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・2名の利用者にターミナルケアを実践し、各職員がスマイル施設内で「看取り」を体験することができた。その際、数名の職員が中心となり医療機関との連携・スマイル内での指示をおこなうことでスキルアップへとつながった。
- ・地域活動の一環として実施しているハロウィンイベントでは、住区センターの協力もあり180名程が来所し法人名を周知することができた。
- ・前年度に掲げた従業員増は達成できず、同数の13名となった。管理者候補の育成については、包括支援センターへの報告、他事業所との会議を管理者代行としておこなった。

(3)児童ディサービス

- ・事業所閉鎖に向けて、その手続きをスケジュールを立てて進めた。
- ・保護者への説明を重ねて理解を得、また協力していただき、すべての児童の受入れ先を確保できた。
- ・職員の処遇に関し、業務のバランス等を考慮し、他事業部とのWワークを実施した。

第1号議案

(4)子ども預かり送迎支援事業

- ・前年度比はおおよそ100%～105%の件数で推移。
- ・定例会にトレーニングを導入したり、事前に内容を告知することで参加率アップを図った。
- ・CDの働きかけにより、報連相の徹底や「ヒヤリハット」の提出などSPの意識改善を改めて促した。
- ・綾瀬、千住エリアの利用者増加

(5)ハートアイランド新田サロン

- ・「幼稚園送迎ステーション」「預かり送迎支援事業(新田地域)」の拠点としても活動。
- ・5月と11月にキッズバザーを開催。
- ・長期休みのステーション開設開始
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。

(6)「地域保健センター/男女参画プラザ等集団保育事業・一時保育独自サービス」

- ・「集団保育」については、昨年度比120～150%の件数で推移している。
- ・「一時保育独自サービス」については、習い事等の安定した利用があり、区外への送迎など依頼も増えている。

(7)サロン豆の木

- ・第2、第4土曜日の開催にこだわらず学校行事、区内大型イベントと重なるときは開催日を変更した。
- ・「新たな体験機会」をテーマにイベントを企画し、父子家庭や新規参加者の獲得に繋がった。

(8)介護のしごと相談面接会

今年度初めてPR動画の撮影が始まり、各事業所を35カ所×2回訪問して撮影、編集後YouTubeにUpするという試みを開始した。また、コロナ後の開催で前回より参加者が増加した。

(9)ぶらちなぱんとりー

R5年度の緊急支援補助を受け、幅の広い層の生活困窮者に食糧支援を実施した。また、サロン豆の木事業と連携し、特にひとり親家庭の支援が主となった。フードバンクの支援は申請に時間がかかったため、今年度は法人内現物寄付と共に、補助金による食料購入を主として運営した。

(10)その他地域連携事業

地域連携事業として様々な協力連携を実施、Instagramにて情報発信する事で各々の相乗効果が生まれてきた。

＜区外団体連携＞

- ・足尾町地域おこし連携～足尾地域おこし協力隊、足尾まるごと井戸端会議、足尾に緑を育てる会
- ・自治体協力～スマートワークライフ日光、日光市総合政策課
- ・海外活動団体協力～ミャンマーファミリークリニックと菜園の会
- ・インターンシップ情報交換～アクションポート横浜

＜区内団体/企業連携＞

- ・チャレンジルーム(駄菓子屋かしづき、むつみ会、オリーブ会)
- ・タカラ湯、足立区銭湯組合イベント協力
- ・むつみ会加平児童館イベント協力、なないろ園パン体験開催
- ・フレイル体操運営～男ボラ粹生き倶楽部
- ・五反野商店街ボランティア
- ・足立1万人の介護者家族会定例会講演

＜大学連携＞

- ・日本女子大学卒業研究協力
- ・大学生サークル連携～TDUらいふ、帝京科学大SAT、文教大ACTION、聖徳大大成ゼミ、未来スケッチ(区内外大学連絡会)

第1号議案

Ⅱ.組織運営関係全般

- ・ワークライフバランス認定を利用した外部講師による研修、Eラーニングによる研修等で月1回、職員のスキル及びモチベーション向上のための研修を行った。
- ・4年ぶりに納涼会、新年会、慰安旅行を行うことができた。
- ・ワーケーションを当法人の働き方に合わせ改良した「ぶらケーション」、「がん検診補助」「ぶらちなミャンマー祭り」など福利厚生を拡充させた。
- ・本部出入り口をスマートロックに変えセキュリティを強化した。
- ・ぶらちなブログだけでなくInstagramにて情報発信を頻繁に行った。
- ・「ボランティア祭り」に出店し多くの来場者とコミュニケーションを深めた。
- ・情報共有のツールとして導入したLINE WORKSにより業務を効率化でき、また全職員への周知等々存分に活用出来た。
- ・複合機等のリース契約の入替、職員用スマホの入替により毎月の固定経費の削減が出来た。
- ・消耗品の購入先の見直し、まとめ購入、オールシーズンタイヤの導入などにより経費削減が出来た。
- ・支払いをPayPay銀行から振込することで振込手数料の削減が出来た。
- ・児童デイ職員が「サロン豆の木」「子育て事業部」への応援勤務など事業部間におけるワークシェアリングを行った。
- ・緊急時に備え、BCPの体制を構築することは達成できなかった。

令和5年度 決算報告書

第 23 期

自 令和 5年 4 月 1 日
至 令和 6年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ふらちなくらぶ
理事長 小谷典史

令和5年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I. 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		79,000
正会員会費	79,000	
2. 事業収入		220,427,851
介護事業収入	7,181,644	
支援事業収入	67,054,302	
豆の木事業収入	2,702,810	
スマイル事業収入	68,124,552	
子育て事業収入	53,307,755	
新田事業収入	9,642,050	
介護のしごと収入	2,362,800	
児童デイ事業収入	8,367,665	
独自事業収入	1,684,273	
3. 助成金・寄付金収入		35,036
経常収入合計		220,541,887
II. 経常収出の部		
1. 事業費支出		186,530,676
介護事業	8,297,222	
支援事業	56,996,789	
サロン豆の木	932,489	
スマイル事業	56,320,361	
子育て事業	40,825,674	
新田事業	9,223,266	
介護のしごと事業	1,692,147	
児童デイ事業	10,760,691	
ちびっこガーデン	6,476	
ぶらちなバントリー	262,857	
千住大橋事業	5,211	
独自事業	1,207,493	
2. 管理費支出		36,447,552
給料手当	14,306,783	
賞 与	700,000	
退職金	239,875	
法定福利費	1,981,829	
福利厚生費	1,158,213	
採用教育費	666,350	
外注費	650,729	
荷造運賃	1,369	

広告宣伝費	0		
交際費	30,331		
会議費	0		
旅費交通費	390,728		
通信運搬費	1,287,693		
消耗什器備品費	626,768		
事務用品費	239,745		
修繕費	59,400		
水道光熱費	211,639		
諸会費	13,000		
支払手数料	228,640		
地代家賃	1,692,000		
リース料	697,800		
保険料	887,698		
租税公課	953,690		
支払報酬料	2,445,600		
寄付金	829,681		
支払消費税	4,326,300		
減価償却費	1,810,648		
貸倒繰入額(販)	0		
雑費	11,043		
経常収出合計			222,978,228
経常収支差額			-2,436,341
経常外収益			5,258,826
受取利息	463		
雑収入	2,817,127		
貸倒引当金戻入額	53,412		
固定資産売却益	2,387,824		
経常外費用			1,551,690
支払利息	861,860		
固定資産圧縮損	494,959		
固定資産除却損	194,871		
当期収支差額			1,270,795
法人税等	511,866		
当期正味財産増減額			758,929
前期繰越資金有高			0
次期繰越収支差額			758,929

令和5年度 特定非営利活動に係る事業会計

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	590,283	未払費用	17,620,104
当座預金	447,251	未払法人税等	511,800
普通預金	40,802,912	預り金	530,398
未収入金	30,150,241	一年内返済長期借入金	8,869,000
貸倒引当金	-180,901		
貯蔵品	62,000		
前渡金	20,000	流動負債合計	27,531,302
前払費用	104,882	固定負債	
預け金	8,990	長期借入金	46,785,000
立替金	0		
流動資産合計	72,005,658	負債合計	74,316,302
固定資産		正味財産の部	
(有形固定資産)			
建物	26,256,021	前期繰越正味財産	109,035,271
建物付属設備	2,930,105		
構築物	2,138,082		
車輛運搬具	578,271		
工具器具備品	1		
土地	77,829,403	当期正味財産増加額	758,929
(無形固定資産)			
保険積立金	193,813		
保証金	1,443,000		
出資金	11,000		
長期前払費用	525,155		
(投 資 等)			
繰延資産	199,993		
固定資産、繰延資産合計	112,104,844	正味財産合計	109,794,200
資産合計	184,110,502	負債及び正味財産合計	184,110,502

計算書類の注記

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法	定率法
無形固定資産	定額法	

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却しております

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 45,034,052円

3 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	0	43,314,842	17,058,821	26,256,021
建物付属設備	18,243,650	1,672,000	194,871	19,720,779	15,313,545	2,930,105
構築物	13,507,139	0	0	13,507,139	11,369,057	2,138,082
車両運搬具	1,870,900	0	863,756	1,007,144	1,292,629	578,271
工具器具備品	0	857,245	857,244	1	0	1
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
ソフトウェア	669,900	0	0	669,900	669,900	0
繰延資産	1,231,816	0	139,321	1,092,495	1,031,823	199,993
合計	156,667,650	2,529,245	2,055,192	157,141,703	46,735,775	109,931,876

4 借入金が増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	10,854,000	8,869,000	10,854,000	8,869,000
長期借入金	55,654,000	10,854,000	19,723,000	46,785,000
役員借入金	342,307	200,000	542,307	0

令和5年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和6年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額		
I 流動資産				
現 金	現金手許有高	590,283		
当座預金		447,251		
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店	29,484,943		
	みずほ銀行/綾瀬支店	9,883,644		
	谷中郵便局	345,708		
	PayPay銀行	1,088,617	41,840,446	
預 け 金	リサイクル預託金	8,990		
未収入金	東京都国民保険連合会	18,078,089		
	足立区	7,306,670		
	東京都（助成金）	835,000		
	利用者負担分他	3,930,482	30,159,231	
貸倒引当金		-180,901	-180,901	
貯蔵品		62,000		
前渡金		20,000		
前払費用		104,882	186,882	
流動資産 合計				72,005,658
II 固定資産				
(有形固定資産)				
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡	26,256,021	26,256,021	
建物付属設備	電気・給排水設備	195,573		
	空調・消防・ガス設備	348,792		
	昇降機	1,615,988		
	本部空調設備	109,963		
	本部3Fサンルーム	659,789	2,930,105	
構築物	スマイル造作工事、看板	2,138,082	2,138,082	
車両運搬具	スズキ エヴリイ	578,271	578,271	
工具器具備品	冷蔵庫・冷凍庫	1	1	
土地	東京都足立区加平1-8-23	77,829,403	77,829,403	
有形固定資産 計			109,731,883	109,731,883
(無形固定資産)				
無形固定資産 計		0	0	0
(投資その他の資産)				
保 証 金		1,443,000		
保険積立金		193,813		
出 資 金		11,000		
長期前払費用		525,155	2,172,968	

投資その他の資産 計				2,172,968
固定資産 合計				111,904,851
Ⅲ 繰延資産	公共施設負担金（水道管工事）	107,043		
	スマイル更新料	92,950	199,993	
Ⅲ 繰延資産				199,993
資産の部 合計				184,110,502
Ⅰ 流動負債				
未払法人税等	当期確定申告分	511,800		
未払費用	3月分給与等	17,620,104		
預り金	源泉所得税、住民税	530,398		
一年以内長期借入金		8,869,000	27,531,302	
流動負債 合計				27,531,302
Ⅱ 固定負債				
長期借入金	日本政策金融公庫	46,785,000	46,785,000	
固定負債 合計				46,785,000
負債の部 合計				74,316,302
Ⅲ 正味財産の部				
前期繰越正味財産			109,035,271	
当期正味財産増加額			758,929	
正味財産合計				109,794,200
負債及び正味財産合計				184,110,502

令和5年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	○理事・監事	コタニ リフミ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		小谷 典史			
2	○理事・監事	コヤナギ ナツエ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		小柳 夏江			
3	○理事・監事	モリカ ヲコキ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		森岡 孝之			
5	○理事・監事	コイケ ケイコ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		小池 桂子			
6	○理事・監事	クシダ チノ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		櫛田 千野			
7	○理事・監事	ホシダ ナガトシ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		河地 伸浩			
8	理事・○監事	ホシダ ナガトシ		令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	なし
		本 多 長利			
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

	氏 名	
1	小谷 典史	
2	森岡 孝之	
3	森角 美晴	
4	櫛田 千野	
5	池田 茜	
6	小柳 夏江	
7	小池 桂子	
8	山口 一哉	
9	尾崎 律子	
10	小宮 明子	
11		
12		